



第 89 期 中間報告書

(令和 6 年 3 月 1 日から)
(令和 6 年 8 月 31 日まで)

岡谷鋼機株式會社

証券コード 7485

株 主 の 皆 様 へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第89期上半期（中間連結会計期間：令和6年3月1日から令和6年8月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

令和6年10月

代表取締役社長

岡 谷 健 広



営 業 の 概 況

◆ 営業の経過及び成果

当中間連結会計期間における世界経済は、地政学リスクの継続や金利・為替の変動等により、不透明な状況が続きました。こうした中、米国経済は個人消費の回復や設備投資等により堅調に推移しましたが、中国・アセアン経済は低調でした。日本経済は、個人消費に改善がみられましたが、人手不足の影響等によりやや力強さを欠きました。

このような環境において、当中間連結会計期間における売上高は、5,398億円で前年同期比0.9%の減収となりました。

営業の概況

損益につきましては、売上総利益が433億51百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益が172億45百万円（前年同期比7.6%増）、経常利益が190億33百万円（前年同期比6.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は123億97百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり135円とし、支払開始日を10月31日とさせていただきます。

◆ 通期の見通し

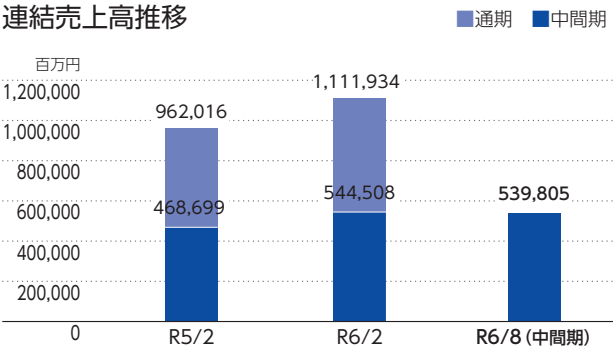
令和7年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては令和6年3月28日発表の予想数値を据置いております。

当社グループの令和7年2月期の連結売上高は1兆1,500億円、営業利益は310億円、経常利益は340億円、親会社株主に帰属する当期純利益は225億円を見込んでおります。

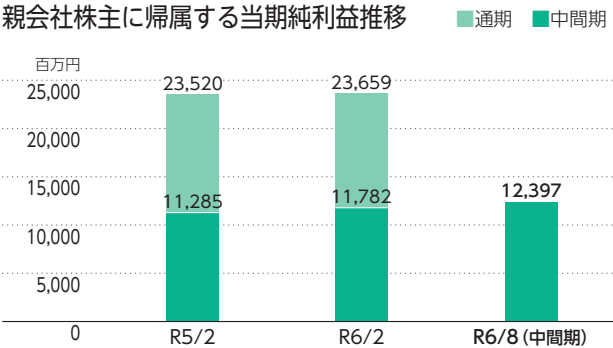
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

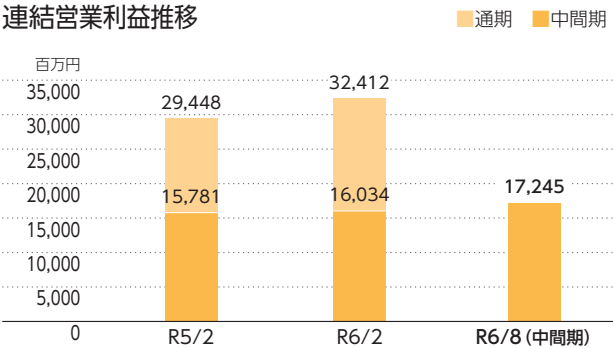
連結売上高推移



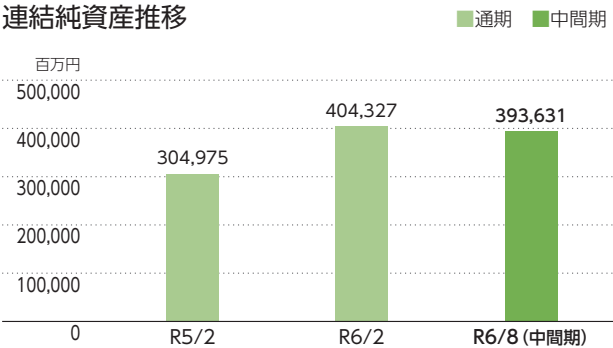
親会社株主に帰属する当期純利益推移



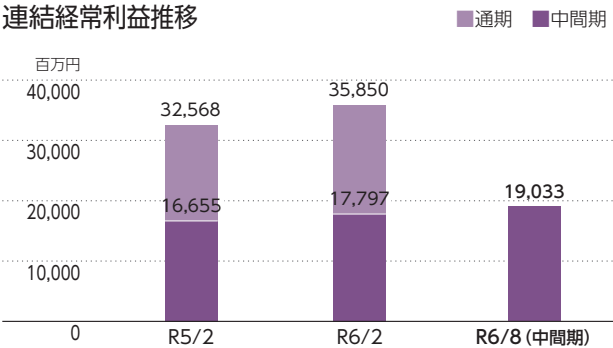
連結営業利益推移



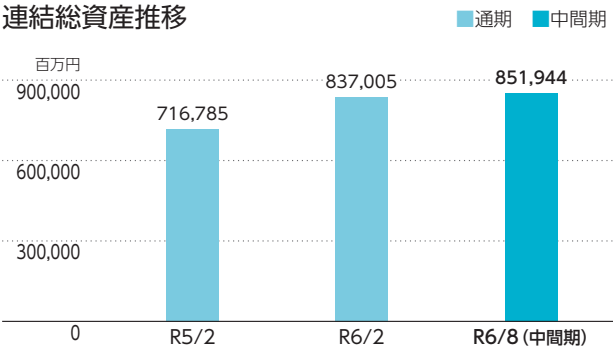
連結純資産推移



連結経常利益推移



連結総資産推移



トピックス

1. 健康経営優良法人2024に認定

令和6年3月に、4年連続で「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に認定されました。グループ各社も認定に向けた取組みを行い、国内全ての連結子会社（令和6年2月末日時点）が認定されました。

2. 岡谷鋼機名古屋公会堂の愛称使用開始

令和6年4月より、名古屋市公会堂の愛称「岡谷鋼機名古屋公会堂」の使用が開始されました。国の登録有形文化財でもある名古屋市公会堂の保護ならびに地域の芸術文化の振興、福祉の向上に貢献してまいります。



3. 小学生サッカー大会「OKAYA CUP」に協賛

令和6年6月に、「AIFA 第6回 OKAYA CUP U-10サッカー大会2024」の県大会が開催されました。当社は令和元年度より小学生少年・少女サッカー大会を支援しており、今年度も愛知県、岐阜県、三重県大会並びに東海大会に協賛しています。



4. チャリティーコンサートを開催

令和6年7月に、今回で12回目となるチャリティーコンサートを開催しました。

なお、地域の社会福祉向上のため、チケット売上金とマッチングギフト、来場者からの募金を合わせ、社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付を行いました。



5. 桑名金属工業株式会社を設立

令和6年8月に、株式会社プロテリアル配管機器事業を譲り受け、事業を開始しました。伝統と信頼のある同事業を継承し、ものづくりを通じて社会インフラの整備に貢献してまいります。



6. 義援金寄付

国内外グループ会社とともに、令和6年4月の台湾東部地震、令和6年7月の山形県を中心とした大雨被害による被災者に対し、義援金を寄付しました。

鉄 鋼



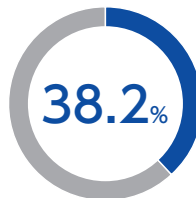
鉄鋼部門は、製造業向けは順調でしたが、建材関連が減少しました。

特殊鋼部門は、自動車向けは堅調に推移しましたが、産機向けが減少しました。

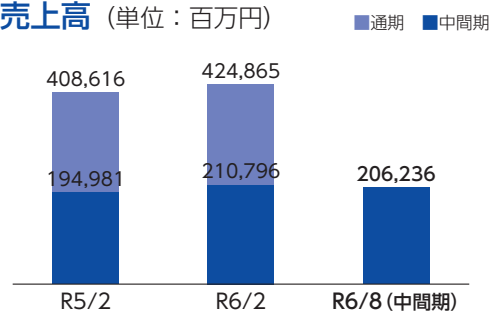
海外は、アジア向けは減少しましたが、欧米向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、2,062億円で前年同期比2.2%の減収となりました。

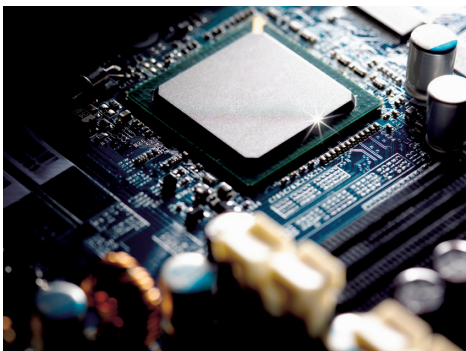
売上高構成比



売上高 (単位：百万円)



情報・電機

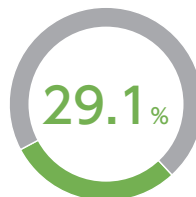


エレクトロニクス部門は、情報インフラ関連は増加しましたが、車載部品、FA関連が減少しました。

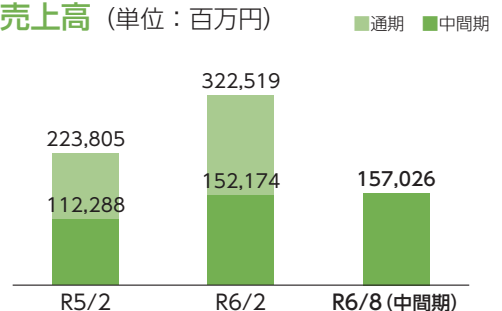
非鉄金属部門は、材料価格の上昇に加え、環境配慮型材料が増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、1,570億円で前年同期比3.2%の増収となりました。

売上高構成比



売上高 (単位：百万円)

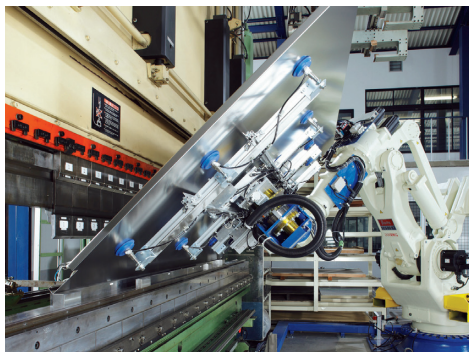


産業資材

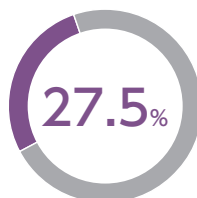
メカトロ部門は、航空機向け部材は増加しましたが、設備及び工具が減少しました。

化成品部門は、国内外ともに堅調でした。

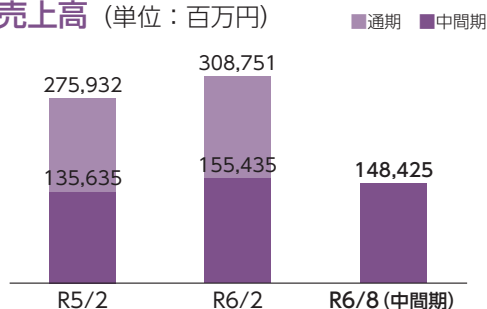
産業資材セグメントの売上高は、1,484億円で前年同期比4.5%の減収となりました。



売上高構成比



売上高 (単位：百万円)



生活産業

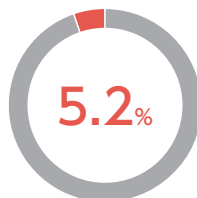
配管建設部門は、配管資材・エネルギー関連及び分譲マンションが増加しました。

食品部門は、鶏肉及び水産物の輸入取引が増加しました。

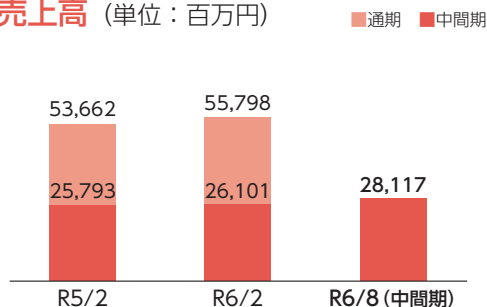
生活産業セグメントの売上高は、281億円で前年同期比7.7%の増収となりました。



売上高構成比



売上高 (単位：百万円)



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間 (令和6年8月31日現在)	前連結会計年度 (令和6年2月29日現在)
資 産 の 部		
流動資産	496,473	474,623
固定資産	355,471	362,382
有形固定資産	76,142	62,092
無形固定資産	4,492	2,840
投資その他の資産	274,835	297,448
資産合計	851,944	837,005
負 債 の 部		
流動負債	365,752	334,855
固定負債	92,560	97,822
負債合計	458,313	432,678
純 資 産 の 部		
株主資本	239,937	228,840
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,803	7,803
利益剰余金	223,523	212,426
自己株式	△ 516	△ 516
その他の包括利益累計額	135,129	157,437
その他有価証券評価差額金	108,415	128,485
繰延ヘッジ損益	△ 906	748
為替換算調整勘定	9,575	9,082
退職給付に係る調整累計額	18,044	19,122
非支配株主持分	18,564	18,049
純資産合計	393,631	404,327
負債純資産合計	851,944	837,005

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間 (令和6年3月1日から 令和6年8月31日まで)	前中間連結会計期間 (令和5年3月1日から 令和5年8月31日まで)
売上高	539,805	544,508
売上原価	496,454	502,893
売上総利益	43,351	41,615
販売費及び一般管理費	26,106	25,581
営業利益	17,245	16,034
営業外収益	4,939	4,714
営業外費用	3,150	2,952
経常利益	19,033	17,797
特別利益	13	79
特別損失	22	88
税金等調整前中間純利益	19,024	17,788
法人税、住民税及び事業税	5,413	5,069
法人税等調整額	312	289
中間純利益	13,299	12,429
非支配株主に帰属する中間純利益	901	646
親会社株主に帰属する中間純利益	12,397	11,782

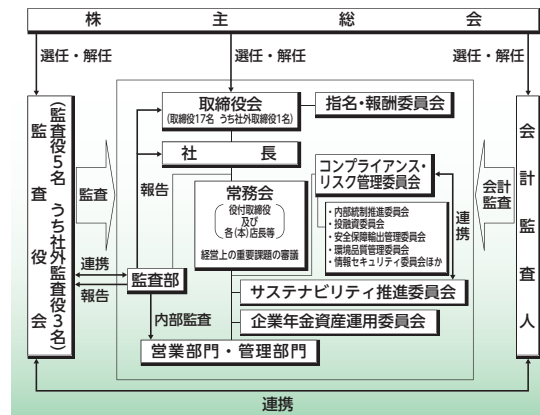
内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <https://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑦ 当社および子会社の取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

中間期末（8月期）株主優待として、8月末保有株式数400株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

なお、期末（2月期）保有株式数200株以上の株主様に、《愛知県産米 山の幻ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の最終株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、保有株式数200株以上の株主様に《図書カード2,000円相当（年間4,000円相当）》をお贈りいたします。

発送は通常の株主優待とは別送になります。

当社は令和6年9月1日に株式1株を2株に分割しており、上記は分割後の保有株式数で記載しております。

転居などにより、株主優待品をお届けできない場合があります。

確実にお届けするため、転居などによりご住所が変更となった株主様は、住所変更のお届出をお願いいたします。

会社概要 (令和6年8月31日現在)

会社概要

商 号	岡谷鋼機株式会社 OKAYA & CO., LTD.
所 在 地	名古屋市中区栄二丁目 4 番18号
創 設 年 次	寛文 9 年（1669年） 昭和12年（1937年）
資 本 金	91億28百万円
事 業 範 疇	国内販売・輸出入貿易業・建設業・ 倉庫業・不動産業
就 業 人 員	連結 6,471名 単体 735名
U R L	https://www.okaya.co.jp/

役 員

[illegible]

ネットワーク

1. 当 社

本社・名古屋本店	名古屋市中区栄二丁目4番18号
東京本店	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 (丸の内中央ビル)
大阪店	大阪市西区新町一丁目27番5号
国内支店	豊田、刈谷、安城、 北関東(小山市)、静岡、浜松、 北海道(苫小牧市)、東北(仙台市)、 新潟、北陸(富山市)、 中国(広島市)、九州(福岡市)

2. 関係会社等

内 玉

(株)NaITO(東京都他)、岡谷マート(株)(東京都他)、岡谷エレクトロニクス(株)(横浜市他)、光洋マテリア(株)(名古屋市他)、岡谷鋼機九州(株)(福岡市他)、東海プレス工業(株)(愛知県弥富市)、中部合成樹脂工業(株)(愛知県豊川市他)、岡谷建材(株)(東京都他)、東海岡谷機材(株)(愛知県刈谷市他)、岡谷物流(株)(名古屋市他)、六合エレクトック(株)(名古屋市他)、岡谷スチール(株)(名古屋市他)、岡谷機電(株)(名古屋市他)、(株)岡谷特殊鋼センター(愛知県丹羽郡)、桑名金属工業(株)(三重県桑名市他) 他

海外

米岡谷鋼機会社、カナダ岡谷鋼機会社、メキシコ岡谷鋼機会社、ブラジル岡谷鋼機会社、欧州岡谷鋼機会社（ドイツ他）、インド岡谷鋼機会社、タイ岡谷鋼機会社、サイアム スリヤ会社（タイ）、マレーシア岡谷鋼機会社、シンガポール岡谷鋼機会社、ベトナム岡谷鋼機会社、インドネシア岡谷鋼機会社、広州岡谷鋼機有限公司（中国）、香港岡谷鋼機有限公司（中国）、北京岡谷鋼機有限公司（中国）、上海岡谷鋼機有限公司（中国）、台湾岡谷鋼機有限公司、韓国岡谷鋼機会社、豪州岡谷鋼機会社、Poland Tokai Okaya Manufacturing Co. z.o.o.、Union Autoparts Manufacturing Sp. z o.o.（タイ） 他

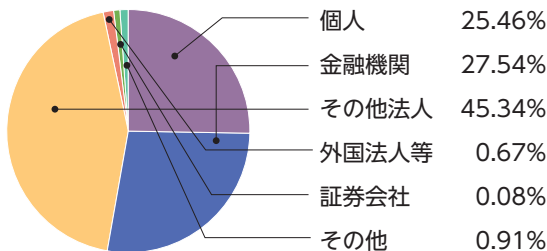
株式の状況 (令和6年8月31日現在)

株式の状況

株 式 数	
発行可能株式総数	35,571,200 株
発行済株式の総数	9,720,000 株
株 主 数	4,378 名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産(株)	1,214	12.60
岡谷篤一	483	5.01
(株)三菱UFJ銀行	462	4.80
日本製鉄(株)	434	4.51
三井住友信託銀行(株)	402	4.17
(株)りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン(株)	188	1.95
岡谷鋼機社員持株会	165	1.71
オークマ(株)	163	1.69
公益財団法人真照会	140	1.46

- (注) 1. 持株比率は自己株式(87,323株)を控除して計算しております。
2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

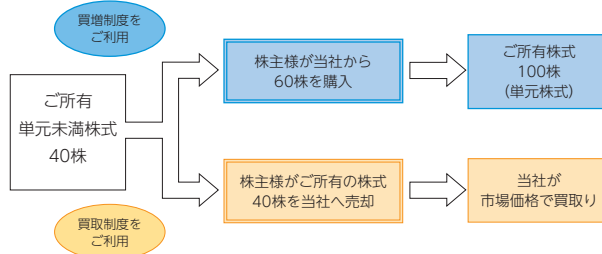
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

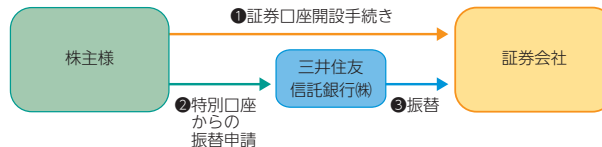
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお薦めします。



※特別口座
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株 主 メ モ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日
 中間配当 8月31日
 公告の方法 電子公告
 ただし、電子公告によることができない
 やむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

https://www.okaya.co.jp/ir/public_notice/

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国本支店で行っております。

ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信等の
 詳しい財務データや各種IR情報を掲載し
 ています。
 是非一度ご覧ください。



岡谷鋼機ホームページアドレス
<https://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている 証券会社
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
・単元未満株式の買取・買増請求 ・特別口座から証券口座への振替請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

岡谷鋼機株式會社

UD
FONT
by MORISAWA

VEGETABLE
OIL INK

GREEN PRINTING JPPI
P-A10007